



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、5月22日（土）開催予定の運動会が急遽延期になりました。保護者の皆様方には、大変ご心配をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。子どもたちにとっては、すでに運動会に向けた練習を始めていたところで誠に残念ですが、秋にはその成果を披露できることを願いたいと思います。

本校におきましては、感染状況を注視しながら、今後も子どもたちの健康や安全を確保することを第一に考え、感染症対策の徹底を図り、充実した学校生活を送ることができるよう鋭意取り組んでまいります。

年度当初に計画しておりました直近の6・7月の学校行事や教育活動等については、以下のような中止・延期等の変更をします。

<6月行事等>

- 1日（火）朝会 → 中止
- 10日（木）5・6年音楽教室 → 中止
- 15日（火）参観日・給食試食会 → 中止
学校保健安全委員会 → 延期
- 25日（金）4年社会見学 → 検討中

<7月行事等>

- 1日（木）～2日（金）5年宿泊学習
→ 1日（木）のみ校外学習
- 6日（火）参観日・・・検討中

心とひらく



「ひらく」と「あける」という言葉はよく似ています。「校門をひらく」「校門をあける」のように、同じ意味で使われることもあります。が、「心をひらく」とは言いますが、「心をあける」とは言いません。そもそも、「あける」は塞がれた状態をなくすこと、「ひらく」は何か2つの物が互いにくっつき合っている物をこじあけることです。

では、「心をひらく」とは、どういうことでしょうか。私たちの心は、体の中の胸や頭の中に互いにくっつき合うようにして入っていると考えられます。私たちは、他者と話し合ったり、顔の表情を見たりして、相手の心がある程度分かります。しかし、丁寧に話してもらわないと全部は分かりません。ですから、周りの人に自分の気持ちを話してみることが大事です。心を逆に閉じってしまうと、新しい物の見方や感じ方を身に付けることができなくなります。それは寂しいことです。

心をひらいてさまざまな人の話を聞いて自分を成長させ、自分との違いを受け止め相手のよさを認められる子どもになってほしいと思います。コロナ禍にあっても、「心のディスタンス」は距離を縮めたいものです。



登下校について（再度のお願い）

本校では、登下校（登校は集団登校）を原則として徒歩としています。しかしながら、お子様のけがや体調不良、ご家庭の事情（習いごとや急な用事など）により、保護者の車で送迎されることもあると思います。その場合には、児童の安全・安心の観点から、以下の点につきまして、ご配慮とご協力をお願いいたします。

- 校地内はもとより学校周辺の通学路では、多くの児童が登下校しています。制限速度内での安全運転にご協力ください。また、校地内へ乗り入れる場合は、**最徐行**でお願いします。
- 事故などによる責任やトラブルにもつながりかねませんので、車での送迎では、基本的に他のお子様の同乗を避けていただいた方がよいと思われます。
- 登校時にやむを得ず車で送られる場合は、登校班で不都合が生じないよう、連絡・調整等ご配慮ください。